

NTTデータ

インシデントマネジメントソリューション

— 緊急時指揮支援システム (AGADIS™) —

多様化する災害に対応するため、ホームランドセキュリティ推進担当を新設

米国では2001年の同時多発テロ(9.11)以降、自然災害のみならず様々な脅威(インシデント)から国民を守る国土安全保障に関するホームランドセキュリティビジネスが急拡大している。わが国でも、自然災害とともに人為災害による被害が格段に増加していることから、平成16年9月には「国民保護法」が施行され、中央省庁、都道府県、市町村、インフラ企業など、国内の約3,000機関で基本方針に基づく「国民保護計画」を作成している。現在、災害の様態・規模も多様化していることから、昭和37年7月に施行された「災害対策基本法」とあわせ、オールハザード(テロを含むあらゆる緊急事態)対応の危機管理体制の

確立が急務となっている。

このように多様化してきた災害に対応するため、NTTデータは本年4月、危機管理・防災分野の関連組織を集約した「ホームランドセキュリティ推進担当」を新設し、体制強化を図っている(図1)。これにより、オールハザード対応の危機管理体制の確立を支援するのが最大の狙いだ。

予防・被害軽減に向けたオールハザード対応のソリューション- AGADIS -

NTTデータでは、自然災害や事件・事故、さらにはテロ等の恣意的攻撃を含め、あらゆるインシデントに対応したオールハザード対応の災害未然防止・被害の拡大防止に向けたソリューションとして、「緊急時指揮支援システム (AGADIS)」を開発、本年3月1日より販売開始している。

「AGADISは、危機発生前・発生前・発生後において、緊急時対応を行う指揮者及び対応チームに対するガイド・サポートを行う指揮支援システムです。対応マニュアル等を基に事前に作成したシナリオ(対応計画)を事態の様相に合わせて変化させ、マニュアルの必要部分をモニタに表示させること



(株)NTTデータ 第一公共システム事業本部
e-コミュニティ推進事業部
ホームランドセキュリティ推進担当
課長代理 中村 毅氏

により対応マニュアルを効率的に運用することができ、迅速かつ適切な緊急時対応を行うことが可能となります。指揮官と現場対応チームの情報交換をサポートし、通常時の防災訓練にも対応可能なほか、取得したログをもとに対応マニュアルの見直しも図れます。」(ホームランドセキュリティ推進担当 中村毅課長代理)

業務に支障を及ぼすようなインシデントが発生した場合、発災時の初動活動が極めて重要となる。直接被害(物的な損害)と、直接被害の約10倍の被害をもたらすともいわれる間接被害(機会損失)を含めたトータルの被害を最小限に留めるような迅速かつ的確な対応を実施する必要がある。このような取組みを、ITを用いて支援する目的で開発されたのがAGADIS (Against Disaster Information System)

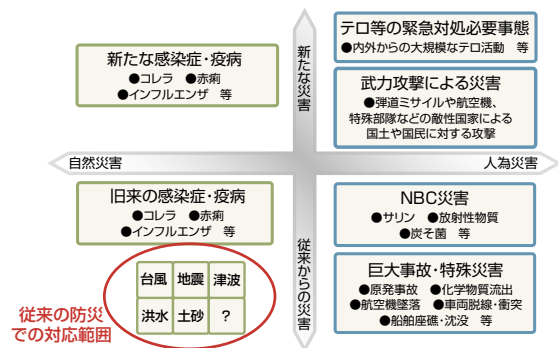


図1 多様化してきた災害に対応するため体制を強化

だ。ITソリューションを適用することで、人に依存していた対応手順を標準化してナレッジとして蓄積することができ、ノウハウの継承や対応手順の見直し等を容易に行うことが可能になる。また、標準化された対応手順に基づく実践的な訓練による対応者のスキルアップを図ることや、IT化により同一の時間軸上でより多くの対応者を一元管理することができる。

インシデントマネジメントサイクルにより間接被害を軽減

インシデントに対する未然防止と、インシデント発生時の迅速かつ適切な対応による被害の拡大防止には、準備、対応、復旧、被害軽減の4つのフェーズに対するそれぞれのマネジメントが重要になる（図2）。AGADISは主に、インシデントマネジメントサイクルの準備、対応の領域をカバーし、組織の緊急対応におけるガイド、サポートを行うシステムだ。危機対応マニュアルや対応方針に従って必要な情報のみを、必要な対応チームだけに、適切なタイミングで提示する（図3）。以下、AGADISの主な特長と導入効果を示す。

- ・ シナリオ（対応計画）作成段階において、各対応者の危機意識の向上及び対応力の向上を図ることで、災害の未然防止も期待できる。シナリオは、各対応チームに応じた1:nの展開が可能となっている。
- ・ インシデント発生前に指揮者や各対応チームの対応訓練を行うことができる。
- ・ 対応訓練およびインシデント発生

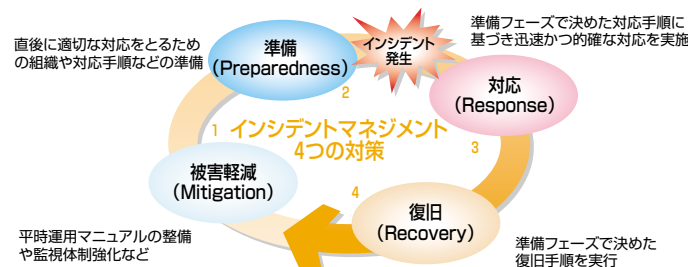


図2 インシデントマネジメントサイクル

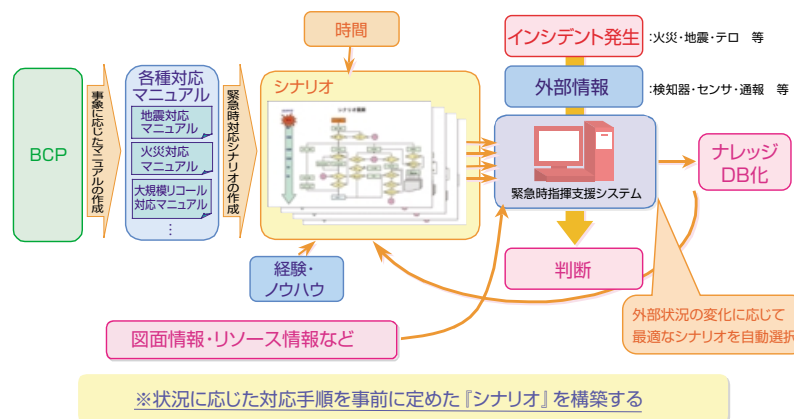


図3 インシデントマネジメントと緊急時指揮支援システム (AGADIS)

後には取得したログを基に対応マニュアルやシナリオの見直し、改善に役立てることができる。

- ・ 各種危機対応マニュアルや対応方針に従って、必要な情報を、必要な対応チームだけに、他チームが取った行動による状況変化や外部情報変化に合わせて、適切なタイミングで提示。これにより、指揮者及び各対応チームの意思決定をサポートする。
- ・ 時間の経過とともに変化する状況に応じて適用シナリオが随時変更され、緊急時には紙に書かれているマニュアルを利用するよりも迅速な対応が期待できる。
- ・ シナリオにノウハウを蓄積させることで個人が蓄積している経験を共有することができる。

AGADISは、すでに某自治体での利用に加え、大手インフラ企業への導入が決定している。NTTデータでは自治体・学校・企業等へのAGADISの提案活動を積極的に展開しているが、レスキューナウ社との協業により危機管理・事業継続支援事業を通じた新たな展開も行う。なお、NTTデータでは、ユーザーが容易にシナリオ作成を行えるGUIツールの提供も検討している。

お問い合わせ先

(株)NTTデータ
 第一公共システム事業本部
 e-コミュニティ推進事業部
 ホームランドセキュリティ推進担当
 TEL : 050-5546-2450
 E-mail : HomelandSecurity@kits.nttdata.co.jp
 URL : http://www.nttdata.co.jp